

# 在台湾学汉语

第二十九届足羽高中汉语短训班

第 9 期

2020.2.8

星 期 六



## 修了式 & 答礼会

2月7日（金）、本日は各クラス最後の授業&テストでした。これまでの成果は発揮できたのでしょうか？

11時半からは修了式が行われました。一人ひとり修了証を受け取り、方先生より「言葉は1つの文化の扉を開ける鍵です。この研修での経験をきっかけに、これからも中国語の学習に励んでほしいと思います。」とお言葉をいただきました。

その後、答礼会が行われました。各グループ昨日の練習の成果を十分に発揮し、心を込めた発表でこれまでの感謝の気持ちを伝えることができました。お昼は送別会が稲香村“稻香村 Dàoxiāngcūn”という店で開いてもらい、北京料理を頂きました。皮を剥ぎ取られる前<sup>[注1]</sup>の北京ダッグの姿に衝撃。そして、食べ方がわからず、なかなか手をつけない生徒たち。かわいい。さらに、北京ダッグにわずかに使われている八角を敏感に感じ取る例の2人。<sup>[注2]</sup>送別会も終わり、先生方や学生チューターさんとの別れを惜しみつつ台湾師範大学での活動は幕を閉じました。

[注1] 理科教員の悪い癖。なんと表現するのが適切なのでしょうか…。

[注2] 語学研修レポート No.7 参照。ちなみに八角を感じたときは「シナモニカル」と表現します。



## 《生徒の日記より》



修了証を貰ったので、なんだか卒業式のような気分でした。各班の出し物の発表では、それなりに上手く言えたかなと思いました。歌はいつも通りクラス1つで楽しく歌えました。（清水 彩音）

最後って思うと少し寂しく思えました！管老师！！谢谢♡♡♡ 我爱你♡♡♡（松村 ここな）

正直台湾に行く前まではあまり行く気がしなかったし、どっちかと言うと行きたくないという気持ちの方が強かったと思う。だけど、実際行ってみてなんだかんだ楽しんでたのかなと今は思っている。台湾で遊べる時間ももう少ないし、全力で楽しもうと思った。（南部 友希）

1週間程の時間を自分たちの為に使って頂いたお礼として発表や歌を歌いました。発表は今まであまり上手に読めなかったけど、今日は今までで1番上手に読めたんじゃないかなって思います。感謝の気持ちが伝わったらいいな。（宮下 香菜）

